



たべもの安全情報

第31号

令和3年6月8日発行

東京都西多摩保健所 生活環境安全課
食品衛生第一担当(0428-22-6141)
食品衛生第二担当(042-596-3113)

酸性飲料の保管に注意しましょう

冷たい飲み物が恋しい季節になりました。近年は猛暑日の日も増え、熱中症対策としてスポーツ飲料などを利用されている方も多いと思います。スポーツ飲料などの酸性飲料は保管方法によっては過去に食中毒が発生していますのでご紹介いたします。

内側に傷がついた水筒による事例！

水筒に入れたスポーツ飲料を飲んだ児童が、苦みを感じ、頭痛、めまい、吐き気などを発症しました。スポーツ飲料は、通常は乳白色ですが青緑色に変化していて、銅が検出されました。

水筒の内部が破損していて、保温構造部分に飲み物が染み込んでしまい、そこに使われていた銅が、酸性のスポーツ飲料により溶け出してしまったことが原因と考えられました。

古くなったやかんによる事例！

やかんで作ったスポーツ飲料を飲んだ高齢者が吐き気、嘔吐を発症しました。やかんは水道水を沸かす際に使われていて、やかんの内側が黒く変色していました。残ったスポーツ飲料から銅が検出され、やかんからも微量に検出されました。

長期間にわたりやかんで繰り返し水道水を沸騰させたことで、水道水に極微量に含まれる銅がやかんの内側に付着・蓄積し、そこに酸性のスポーツ飲料を入れたため、飲み物の中に銅が溶け出したことが原因と考えられました。



酸性飲料とは：主に炭酸飲料や乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料があげられます。酸性である炭酸、乳酸、ビタミンC、クエン酸などを多く含む飲み物は、酸性度が高くなります。

次の点に注意しましょう



ポイント1

容器内部にサビや傷が無いか確認しましょう！

サビや傷があると、もともと飲み物が直接触れない部分が露出し、そこから金属成分が溶け出す可能性があります。

落としたりぶついたりした場合だけでなく、使う前に飲み物を保管する容器内部をよく確認する習慣をつけましょう。

ポイント2

酸性飲料を長時間金属製の容器に保管しない！

金属製の容器でも内部がコーティングされている場合もあり一概に言えませんが、酸性飲料は金属製の容器に入れると飲み物の中に金属が溶け出すことがあります。容器や飲み物の注意書きを確認し、長時間の保管を避けましょう。

長時間保管した場合はいつもと違う味や色になっていないか、確認してから飲むようにしましょう。

ポイント3

容器は定期的に交換しましょう！

やかんなどの容器は長年の使用により、汚れや内容物の成分が付着・蓄積している場合があります。

付着物が洗っても落ちないときは、思わぬ事故を防ぐためにも定期的に新しいものと交換することも検討してください。



食品の安全・安心に関する最新情報をホームページで発信中！より詳しい情報はこちらへ↓

「食品衛生の窓」（東京都の食品安全情報サイト）

・知って安心～トピックス～：http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/anshin_topics.html

「東京都西多摩保健所」

・たべもの安全情報：<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/nisitama/shokuhin/anzen.html>